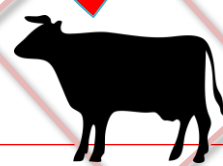




油木発 神石牛 世界へ



新聞によりますと「日米首脳会談のため来日したジョー・バイデン米大統領を、岸田文雄首相が5月23日(月)のワーキングランチにて『神石牛フイル肉のグリル』等、広島島の食材を使った料理でもてなした。」ということだそうです。

食材の神石牛フイル肉は油木地区の「株」入江ミート(代表：入江昭さん)から提供されたもので、このニュースは翌5月24日(火)からのTV・新聞等で大きく報道され、反響を呼びました。報道を受けて現在でも問い合わせや遠方からの買物客もあり、購入には順番待ちの状況も起きているということだそうです。「注文が増えることで商品不足が発生し、購入希望の方々に迷惑をかける。」という不安もあるそうです。

それでも、今回のニュースを受け、入江さんは「今の店舗がある天神原は、もともと牛の市が立っていた場所。また、有名な『豊萬号の墓』も近くにある。」と、商売ができるのも何かの縁を感じます。これから、『神石牛』というブランドを発展させていきたいです。将来的には全て入江牧場で飼育した牛を売ることができればと思っています。「と、今後の抱負を話されていました。」

新型コロナウイルスの終焉が見えない状況の中で、久しぶりのうれしい話題、明るい話題となりました。

「新しいモノ」を求めることも大切ですが、「地域に根差す伝統・宝」の価値を「神石高原町の宝」として再認識して、活かすことも忘れてはなりません。地に足がいた「地域」の「ゆき」が、ゆきはゆきです。

キッズいろいろ体験!



ゆきキッズクラブが元気に活動しています。

□楽描き教室(6月4日)

若林佐都子先生の指導で、「あじさいの花」「クワガタ虫」を水彩画で描きました。個性的な作品が仕上がりました。

□自然を楽しむ会(6月11日)

赤木健一先生・前原一始先生の指導で、「協働支援センター」権現山〜天神原〜油木亀鶴山八幡神社」のルートで油木の自然を探索しました。

□料理教室(6月18日)

大西智子先生の指導で、「クレープ作り」を行いました。上級生が下級生に声かけをしながら、楽しい時間を過ごしました。

□粽・柏餅作り教室(6月25日)

小田緑先生・神石高原町女性会油木支部の皆さんの指導で、「粽・柏餅作り」を行いました。油木に自生している柏の葉・サルトリイバラの葉・笹の葉・井草を使った、本格的な「粽・柏餅」となりました。



Squash Lesson!



郡司孝一先生を招いての「スカッシュレッスン」が今年もスタートしました。第1回目の6月19日(日)は24名の参加がありました。また、同時開催で辰川秀幸先生の「辰川道場」(ストレッチ&トニング指導)も行われ、参加者はしっかりと体を動かして心地よい汗を流し、運動不足の解消もできたようです。昨年度は「新型コロナ」の影響もありこの企画は4回しか実施できませんでした。今年度は予定通り実施され、参加者が無理なく楽しみながら体力づくりができることを願っています。



安田亀鶴山八幡神社撮影

5月29日(日)、ゆきなび部会・伝統文化伝承チームによる「安田亀鶴山八幡神社」のドローンによる撮影が行われました。

この撮影は、現在「安田亀鶴山八幡神社」の本殿屋根塗り替え工事が行われており、工事の経過を映像に遺すことを目的に、工事完了前に急遽実施したものです。

「安田亀鶴山八幡神社」については、昨年3月7日に第1回の撮影を行っており、今後の予定としては、工事完了後に再度撮影を行い、最終的に編集をして完成を目指すとのことです。

そもそも伝統文化伝承チームの活動としては、「神儀」等、地域に伝わる民俗芸能・文化を後世に遺すことを活動目的としていますが、「新型コロナ」の影響で現在は、主に油木地区にある神社・仏閣等の映像記録保存中心に活動がされています。



核兵器の使用が危惧される今、改めて被爆の非人間性を問う...

〜平和を祈る夏〜 『原爆と人間』展

期間 令和4年8月2日(火)〜8月16日(火)
10:00〜18:00(月:休館)
場所 シルトピアカレッジ図書館

主催：神石高原町原爆被害者協議会
共催：シルトピアカレッジ図書館
油木協働支援センター

—お知らせ—

令和3年10月4日開館以来、「にしかわ化石館」は多くの来館者を迎えています。
 現在「にしかわ化石館」では、西川功氏が蒐集された7,000点余りの「化石・鉱物」コレクションのうち300点余りを展示・公開していますが、この度展示スペースを拡張し、少しでも西川功氏が遺された「宝」を「地域で共有」するべく、改修増築工事を実施させていただきます。(7月～9月予定)

工事期間中はご迷惑をおかけしますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願い致します。

なお、工事期間中も「にしかわ化石館」は通常通り開館(月・水・金)します。



「神石高原つたえるネット」は、児童生徒の健全育成の環境整備を目指して令和2年に設立され、活動を続けられています。
 事務局(赤木俊二さん)
 ☎060-75008-0567

「NPO法人神石高原つたえるネット」が企画し、神石インターナショナルスクール(時安)の児童が参加した「農業体験学習」が東油木地域を会場に開催されました。(3月4日:餅つき・5月19日:田植え)これらの行事は「食や自然環境を考える」「地域の方とのコミュニケーションを図り、生き方や生活を知る」等を目的に企画されたもので、餅つきや田植えを初めて体験した児童も多く、普段の生活の中では体験できない油木地区の自然や人、昔ながらの農業に触れることができた、有意義な機会となったようです。
 秋には、稲刈り体験が行われるという事です。



神石高原学園地域交流会

天空の里運動会

5月22日(日)、「小野地域運動会」が3年ぶりに開催されました。

「新型コロナウイルス」影響もあり、午前中のみの開催となりましたが、0歳から80歳代まで80人あまりが集い、グラウンドには賑やかな声があふいてきました。

ここ数年多くの行事が中止・延期となつていますが、内容・時間・時期等を工夫しながら少しずつ行事を再開していくことも大切ですね。



絶好のスポーツ日和!!



化石館はどこなの?

6月24日(金)、油木小学校2年生9名が「生活科」の一環で「にしかわ化石館」を訪れて学習しました。

「化石は何個くらいありますか?」「化石館はどこですか?」「一番好きな化石は何ですか?」など、事前に考えた質問をしたり、化石館内の展示品に実際に触れたり、短い時間ででしたがしっかりと学ぶことができたようです。



8月19日(金)に広島平和公園を訪問し、平和を祈念します。
 ご家庭等で作成された「折鶴」がありましたら、7月29日(金)までに油木協働支援センターへお届けください。一緒に献呈させていただきます。
 お問い合わせ:油木協働支援センター ☎ 82-0701

折鶴献呈

「小さいけれど無視できないムシの世界」

「無視」できない「ムシ」の「不思議な世界」をちょっと覗いてみませんか?



協力:広島虫の会会長 秋山美文氏

期間:令和4年7月25日(月)～9月2日(金)
 10:00～19:00
 場所:「にしかわ」展示室 (祝日・休日:閉館)

大人の教室「吉備高原の成り立ち～神石高原今昔物語～」

○日時:令和4年8月22日(月) 9:30～11:30
 ○講師:松岡敬二先生(旧油木町出身 理学博士/前豊橋市自然史博物館館長)
 ○場所:油木コミュニティセンターホール ○定員:30名(参加費:無料)
 ○内容:講演「自然科学的感性は油木に原点あり」
 お問い合わせ/申し込み 油木協働支援センター ☎ 82-0701

気軽に「アート」してみま専科? -パステル画編-

テーマ:夏野菜



日時:令和4年7月29日(金) 13:30～16:00
 講師:若林佐都子先生 場所:「にしかわ」
 定員:6名 参加費:500円(画材は準備します)
 お問い合わせ/申し込み:油木協働支援センター ☎ 82-0701

大人の教室 アートクラブPART1

—遊びと体験 さまざまな遊びや体験活動が子どもを成長させます— (参考:鹿児島県教育委員会社会教育課「かごしま家庭教育ナビ」)

遊びや体験活動は、子どもの心の成長にとっても大切です。小さい頃からさまざまな遊びや体験活動を通して、子どもは感覚を働かせ、運動をし、ものをつくり、想像します。そして、人や自然とふれあう遊びや体験活動は、新たな発見や感動を有るだけでなく、社会のルールやマナーを学ぶ絶好の機会でもあります。野外で遊ぶことを勧めたり、実際に自然の中に連れ出して、自然とふれあう楽しさに気付かせましょう。

夏休み期間中は、神石高原町近隣の社会教育施設(福山少年自然の家・県立歴史博物館・比和自然科学博物館等)でも多様な体験活動事業が実施されます。家庭や地域ではなかなか取り組めない活動を是非体験してみてください。
 (詳細は各施設HP等でご確認ください)



「子どもの頃の体験が豊かな大人ほど、意欲・関心や規範意識が高い人が多い」という調査結果もあります。(独立行政法人青少年教育機構調査より)

遊びや体験活動の機会はたくさんあります。

- ◎異年齢集団による様々な活動を通して、思いやりの心や社会性などが育まれます。(子ども会等活動)
- ◎世代の異なる様々な人々との関わりを通して、地域の文化・伝統に親しんだり、いろいろな知識や社会性を身に付けることができます。(地域行事)
- ◎農業体験・ボランティア活動、自治体等の施設が実施する事業への参加などを通して、家族の絆を深めることができます。(家族での体験活動)



☆地域で子どもを見守り育てましょう(油木協働支援センター)